

## 会 議 録

会 議 の 名 称	第 1 回 所 沢 市 文 化 芸 術 推 進 会 議
開 催 日 時	平成 3 0 年 2 月 1 4 日 (水) 午後 1 時 3 0 分 から 午後 3 時 0 0 分 まで
開 催 場 所	所 沢 市 役 所 高 層 棟 5 階 5 0 1 会 議 室
出 席 者 の 氏 名	宍 戸 健 司 正 嘉 昭 嶋 本 桃 子 石 田 尚 子 成 沢 富 雄 竹 田 香 子 我 妻 英 大 久 保 玲 子 中 村 治 雄
欠 席 者 の 氏 名	富 井 大 裕
説 明 員 の 職 ・ 氏 名	な し
議 題	( 1 ) 本 市 が 考 え る 文 化 芸 術 と は ( 2 ) 意 見 交 換 ( 3 ) そ の 他
会 議 資 料	・ 会 議 次 第 ・ 所 沢 市 文 化 芸 術 推 進 会 議 委 員 名 簿 ( 資 料 1 ) 所 沢 市 文 化 芸 術 推 進 会 議 条 例 ( 資 料 2 ) 文 化 芸 術 推 進 会 議 の 概 要 及 び 所 管 事 務 に つ い て ( 資 料 3 ) 所 沢 市 情 報 公 開 条 例 ( 抜 粋 )
担 当 部 課 名	市 民 部 部 長 鈴 木 康 人 次 長 川 上 一 人 文 化 芸 術 振 興 課 課 長 吉 田 謙 治 ( 事 務 局 及 び 所 管 課 ) 副 主 幹 古 田 晃 一 主 査 並 木 美 佐 子 主 任 橋 本 陽 子  市 民 部 文 化 芸 術 振 興 課 電 話 0 4 - 2 9 9 8 - 9 2 1 1

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
事務局	<p>開会</p> <p>会長・副会長の選出            会長の選出（互選による選出）            宍戸委員を推薦する意見が出て、角川文化振興財団の宍戸委員が会長に決定した。            副会長の選出（互選による選出）            正委員を推薦する意見が出て、正委員が副会長に決定した。</p> <p>会長・副会長あいさつ            会長となった宍戸委員よりあいさつがおこなわれた。            副会長となった正委員よりあいさつがおこなわれた。</p>
会長	<p>本会議の公開・非公開、及び会議録の作成についてご審議をお願いしたい。</p>
事務局	<p>（事務局案）</p> <p>会議の公開・非公開について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人に関する情報を審議する場合を除きすべての議題を公開と原則考えている。</li> <li>・今後、非公開とすべき事案が発生した場合は会議の非公開を決定する。</li> </ul> <p>会議録の作成について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・要約記述式とする。</li> <li>・委員長承認をもって議事録確定とする。</li> <li>・発言者の名前は伏せて「委員」と表記する。</li> </ul>
委員一同	<p>～了承～</p>
会長	<p>傍聴手続及び会議の会場における秩序維持について事務局案のとおり別紙の傍聴要領に従って進めてよろしいか。</p>
委員一同	<p>～了承～</p>
会長	<p>会議の公開・非公開、及び会議録の作成については、事務局案のとおり決定する。</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
事務局	<p>それでは、次第に従い、議事を進めたい。</p> <p>議事</p> <p>（１）本市が考える文化芸術とはについて</p> <p>本市における文化芸術について、まずは、文化芸術振興ビジョンを作った経緯から説明させていただきます。平成８年に、所沢市文化振興指針をつくりましたが、そこから２２年経つ間には国の方は平成１３年に文化芸術振興基本法というものを定め、昨年の改定では国と連携を図りながら自治体も地域の特性に応じた文化施策を進めていく必要があるということが書かれました。本市においては、文化芸術の業務は、これまで教育委員会、企画、コミュニティの３つの部門に分かれていましたが、一つに束ねて効率化を図っていくという目的で、平成２７年４月に文化芸術振興課が新設されました。そのような流れを受けて平成２７年の１０月にビジョンを作り始めました。策定にあたっては庁内の関係課の課長で構成された検討委員会と若手職員を中心としたワーキンググループで文化について語り合っただけでなく、本市の文化の指針になるようなものを目指して会議を始めた経過がございます。</p> <p>また、庁内だけでなく色々な人の意見を聞かなければいけないということで文化芸術分野からアドバイザーを選任し、市民の意見交換会を２回ほどもちました。それと文化芸術シンポジウムというタイトルでミュージズを借りて、隈研吾さんに講演いただいたり、その他分科会を開いたりして文化についての密度を高めていったという経過がございます。市民からは情報の提供を公募するとともに、パブリックコメントなどを実施いたしました。日本大学芸術学部にはデザインの関係でも協力をお願いした経過がございます。</p> <p>今から１年前くらいにはほぼ内容については定まったのですがビジュアル的にきちんと手に取って読んでもらえるものということで時代に逆行してＡ４判からＢ５判にしたという経過がございます。なるべく写真を多用して文章だけにならないように、後半に至っては所沢市の歴史、風土というものをひとつにまとめ、アーカイブ・データ集という形で文化芸術についてなるべく細かなところまで網羅し、裏表紙から読んで頂くこともできる形で作成しました。</p> <p>作っていく中でCOOL JAPAN FORES構想というのが始まりましてそれも網羅しなければならないこと、ミュージズが大改修することになりまして今年の１２月からミュージズ全部使えなくなること、東京オリンピック・パラリンピックが２０２０年に控えてお</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
	<p>りましてスポーツの祭典というのは第一義的にはそうなのですが、ロンドンオリンピックあたりから文化の祭典でもあり、各国が趣向を凝らして文化の発表の機会とし、インバウンドで外国の方がいっぱいくるのでそれに対してどうアピールするかといったことも一つも大きな要素になっております。</p> <p>中身につきましては中長期的、この先10年、20年くらいこんな形で所沢の文化芸術をすすめていければということを書いております。3つの章からなっております、一つ目は文化芸術シーンの現在を明らかにするということで、恵まれた文化資源ということで元々自然に恵まれている、それに加えてずっと続いている市民の文化などもあり、そして昨今の色々な企業、団体なども含めて本市で展開されている文化芸術の現状についての認識というものを第1章に。第2章は未来の文化芸術フィールドを描くというタイトルになっていまして、あえて4つの課題、所沢の抱えている問題点をあぶりだしております。一つ目はミューズに代表される文化拠点の役割、老朽化や法律改正に伴って行う大改修や、あるいは各地域ごとにある公民館の在り方ですとか、どうしても文化活動というと場所、会場が必要になるといったときにこれからどういったところで需要を満たしていくのかといったことについて書いております。</p> <p>二つ目は少子高齢社会の問題です。色々な団体、サークルが高齢化している、ミューズのお客さんについても高齢化が進んでおります、若者が何もしていないかというところではなくて若者は若者で自分たちの楽しみ方でインターネットを通じてですとか自分達だけの世界で楽しんでいる。ちょっと離れているように見えるのですがその辺のあたりはたして離れているのかということを書いております。</p> <p>三つ目が基本理念にもつながるのですが首都圏近郊の郊外文化圏についてです。所沢というのはアクセスの良さ、それでいて自然があるというところで恵まれている、それを長所ととらえてどういう風に発展させていくのかといったあたりを書いております。最後に市民文化と都市文化という書き方をしているのですが市民文化というのは先ほどから話していた元々所沢の風土に根付いた文化です。これは、音楽、美術、演劇いろんな分野があるのですがそういったものと別の視点で都市文化、言い方は色々あるのですが新たな所沢のブランドになるようなものを作っていく、そういったアプローチ、今後、自治体間で所沢が生き残っていくためには何か新しいものを作って行かなければならないのではというところで都市文化という名前を付けています。例えば食文化</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
	<p>で一例を挙げると今、「所沢醤油焼きそば」というのが一部では流行りつつあるのですが所沢の深谷醤油という由緒正しい醤油の蔵がありますがその醤油と見澤製麺という麺の工場、これに地元の野菜を加えて所沢のブランドとして売って行こうということで、昔のものを使いながらも新しいことをやっていく、いろんな分野にこうした可能性があるのではないかとということをおたっております。</p> <p>第3章は役所の行政の体系にどう結び付けるかということで基本理念、基本方針を3つ定めております。基本理念は「みどりと文化、人とゆとりのまちづくり」、基本方針は「文化を楽しむ」、「文化で魅せる」、「文化をつむぐ」ということで3つの内容に沿って書かしていただいております。その後に取り組みのヒントということで、これをすぐ実施するというと色々困難があると思うのですが、ワーキンググループ、若手の職員が思いのままにあげたものがほとんどそのまま書いてあり、こんなことを考えているということで出しています。文化芸術振興ビジョンというのは決して事業の計画を書いているわけではなくて、見通し、将来像というものを描いたものでございます。ビジョンについてはそのようなことで御理解いただければと思います。</p> <p>最後に推進会議のことについて触れておきますとビジョンができましたので進捗管理ということでどのように所沢市が動いていくのかということについてチェックしていく機関でもあります。また、ビジョン自体が刷新するようなどときにはご意見をいただきながら直していくことも必要であると思っております。市民の文化活動というのがこれまで続いていますがそういった活動と行政の支援の在り方などについてもアドバイスをいただければと考えております。</p>
会長	<p>ただ今の説明に対しての質問や意見は次の議事（3）「意見交換」で伺う。委員の皆様にはできるだけ様々な角度から発言をいただきたい。</p>
委員	<p>成果物を作らなくても別に良いんですね。</p>
事務局	<p>作らなければいけないという機運が高まれば別ですが、当初から報告をまとめるということは特にございません。</p>
委員	<p>予算はついているのですか。</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
事務局	<p>当課の来年度の予算については、文化的な事業をいくつか実施するための予算はついております。</p>
委員	<p>たとえば、イベントなどの提案があった場合実施できる予算はありますか。</p>
事務局	<p>この会議の企画で通った場合、直ちに実施できるだけの予算の余裕は残念ながらありません。</p>
委員	<p>事務局の説明の中でビジョンの進捗管理というのがありましたが、それぞれの取り組みに関しての指標、仕立て上げたい形、市民参加、など数値的なものが具体的に示されているのでしょうか。</p>
事務局	<p>個別の施策やビジョンの成果の数値的目標を掲げているものはありません。当市で毎年行っている市民意識調査のなかで「所沢市が取り組む文化芸術に満足しているか」に対しては、若干良い方に動いていることは、アンケートでとっています。</p>
委員	<p>さいたま市のアンケート結果で「良いところは何ですか」と聞いたときに文化芸術は下の方で、一番は便利などころなんです。さいたま市と所沢市は似ているんじゃないかと思っています。</p> <p>もう一つは所沢市がおもしろいと思うのは、緑豊かな部分を強調されていると今回のビジョンで感じたのですが、さいたま市は行政も市民の方もあまり認識されておらず、意外と重要視されていません。市内に大きな公園が9つあるにもかかわらず、便利さが非常に重要視されています。</p> <p>所沢市の緑と文化振興、文化芸術を結びつけた方向性というのは、非常に理にかなっているのではないかと感じました。皆さんはどうでしょう。</p>
委員	<p>アンケートで現状を拾ってくるのだとすると、アンケートの問いかけ方や項目、どういう言葉で投げかけるかによってデータが若干ゆがみますよね。どんな質問項目を出すのかとか、選び方の時にこの会議が役に立つのなりたいと思います。</p>
事務局	<p>先ほど、市民意識調査という全庁的に取り組んでいるアンケートの話をしました。実は、このビジョンの裏表紙からの66ページに文化芸術振興に関するアンケート調査結果が載っています。</p> <p>ビジョンを作成するにあたってミューズで定期的に行っている</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
事務局	<p>アンケート調査にのったかたちなので、今後リサーチをかけるということになれば、少しアレンジするのは可能かと思いました。市民意識調査は代表的な質問しかできないので、こちらの方が有効かなという気がいたしました。</p> <p>先ほど、委員から問い合わせのあった計画の進捗状況をこの会議でもみていくという、話から指標のことだと思うが、市も他のプラン、計画など指標があって何年度はここまでやると掲載する例は多い。実際こういった審議会も作って、進捗状況をその都度毎年確認していただく、そういった意味では、この審議会でもそういう役割はあるかと思います。</p> <p>でも、あえて指標をつけなかったのは、数値的目標を掲げるのは馴染まないものと考え、計画ではなくビジョンにしようとなったからでして、指標を付けない形になっているものです。</p> <p>アンケートについても、内容についての意見、こんなアンケートにしたいなどのご意見を伺いたいと思います。</p>
委員	<p>このビジョンにぶら下がる形の計画がこの後策定されるのか。</p>
事務局	<p>よくある実施計画ということだと思いますが、今のところ予定しておりません。</p>
委員	<p>さいたま市は文化芸術都市創造条例を制定されたが、実際そのさいたま市の中で何が行われていてという体系的に把握されていない中で国際芸術祭という形でアウトプットしようとしているのですが、ここまで行政の方がこうあるべきというのをまだ見出せてないというのが現状だと思うんです。こういうものを所沢市では決めていて本当に内容はすばらしい。これって本当にすごくわかりやすいと思って拝見しています。</p>
事務局	<p>条例まで至っている市もちらほらあります。はたして、文化芸術というフィールドに条例というものが馴染むのかという疑問を持ちつつ、作るべきであるという人もいることは確かです。</p> <p>今回のビジョンについては上から押し付けるのではなく所沢市ってこんなところですよという現状からイメージして作っていったという経緯があります。</p>
委員	<p>ミュージズは来年の12月から1年半位閉館するにあたってかなりの穴のような気がするが、その間、学校の合唱コンはどこで行</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
事務局	<p>うのか。1年半はすごく大きいと思うがどう考えていますか。</p> <p>定期的に使っている方から、どうすれば良いかと問い合わせが来ていますが、今のところ現状を説明するしかありません。ミュージズは文化振興事業団に指定管理という形で所管課から運営管理を任せております。</p> <p>ミュージズの事業団については自主事業で年間行っている本数は休館中も減らさないという計画が立っております。場所についても、アウトリーチという形で、まちづくりセンターのホールや、学校の音楽室、体育館を使用している例もありますし、本館を離れて規模は小さくなるが事業自体は途切れることが無いように繋げていくと意思表示が出ております。</p> <p>利用者の方には、大変恐縮ですが、近くの公共のホールで代わりに公演を行うところも出てきております。</p>
委員	<p>地震対策ですか。</p>
事務局	<p>ミュージズの休館の主な要素はバリアフリー対策と東日本大震災で、天井の構造に対して法律が非常に厳しくなったことで改修時にやらなければいけなくなりました。</p> <p>おそらく、近隣の自治体のホールも何年かの内に休館をしながら改修しないと使用できなくなると思われます。</p> <p>ミュージズに関しては音響的に優れていることが知られていると思いますが、天井の構造によって音響が変わってしまうことが一番のネックであり、複雑な工程や工事をとらざるを得なかったのです。期間がそれだけ要してしまう一つだと思います。</p>
委員	<p>文化と芸術ってすごく聞こえがいいじゃないですか。綺麗なものだと思うんですけど。</p> <p>ほとんどしゃべれないから作家がものを書くとか、エロとかグロも含めてのアートなのにせせらぎが流れるようなものだと思います。大間違いだと思っていて、所沢市さんには是非ともそこまで踏み込んでやってもらった方がいい。他の所はみんなやっていないんです。クラシック音楽だってできた過程を勉強して、そういうことも含めてアートというのを許容できるような行政だったらいいと思います。</p>
事務局	<p>行政と文化、芸術の関わり方というのはすごく難しいと思って</p>



発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
委員	<p>います。実際ビジョンといっても行政がこれだと言うのはなかなか難しいものだと思うので、担当としては境界を滲ませるというか、外側の方に入り込んだようなことを少し支援したりできると良いと思います。</p> <p>ミュージアムが休館になるということで、この際所沢における新しい文化芸術の発表形態を作っていく。例えばその一つとして空家を活用した美術展、コンサート、ミュージアムからアウトリーチして既存の施設、使っていない施設などを上手く活用するチャンスにしていくという考えもあるかと思います。</p> <p>行政が少し意図的に誘導してもいいのではないかと。例えば、教育行政の中で芸術教育みたいなもの、音楽と美術は成果としてあるが、演劇はなかなか成果に入らないでいるので所沢がその先頭を走るようなことも良いのではないかと考えます。</p>
委員	<p>日本の伝統音楽は素晴らしいが、お客さんは高齢者ばかりで、本当は若い人に聞いてもらいたい。小中学校にビラを配っても一人も来なくて悲しくて、もっと教育の中にあったら違うのではないかと感じている。</p> <p>地域と一緒に音楽と芸能みたいなものを一緒にやってオペラみたいなものをやると良いのではないかと。</p>
委員	<p>芸術総合高校は和楽器の三味線とかやっていますよね。あの楽器をみせたら良いのではないかと。</p>
委員	<p>三味線と日本舞踊と狂言をやっています。</p>
委員	<p>子どもたちに伝わるかどうかというのは、実はコンテンツの違いではなく課題は同じだと思っている。リアリティをもって伝わってない。子供たちにどんなにチラシを配っても一人も来てくれなかった、それは楽器と音楽性、音楽空間にリアリティがなかったというのが一番の問題なんじゃないか。どういうふうになんかコンテンツでリアリティをもって自分の一部であると感じつつ受け入れてもらえるかという窓口を作って、空間を作り上げて、引き込んで実体験をしてもらい、その次もう一段階上がりましょうというところを地道にやっていくしかないというのを感じているところです。</p>
委員	<p>重松流保存会の三世代、四世代にわたる人達が中央公民館で活</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
事務局	<p>動していて、地元感に溢れていて世代間の交流、伝達の仕方とか、ものすごく良いものを持っているなと思います。</p> <p>コンテンツについては、実は結構ポテンシャルとして存在しています。しかしながら、所沢を語るときに必ず出てくるのが、行き渡っていないとか、知らない人が多いというのが非常に歯がゆいです。解っていれば参加したのにとイベントが結構多いので、情報発信を仲立ち的に行政が関わることに力を入れていけばと思います。SNSとか流行っているのは間違いありませんが、紙媒体でしか情報が入らない世代も明らかにいるわけです。両方の手段を使いながらやっていく過渡期なのかと思います。そのあたりも手厚くやっていかなければいけない部分と思っています。</p>
会長	<p>それでは、色々意見が出たところで最後の議事、今後のスケジュールについて事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>今後のスケジュールについては、この推進会議は年度内に2回開催する予定であります。</p> <p>今、平成29年度なのですが、30年度に入りまして2回、こちらの予定では5月位に次の会議を開きたいと、もう1回が年を越しますが31年1月頃はいかがかなと思っています。</p> <p>5月、1月は厳しいという方はいらっしゃいますか。今回のようにいくつか候補日を挙げさせていただいて出席の高い日を選んで開催するという事でよろしいでしょうか。</p>
委員一同	<p>～了承～</p>
会長	<p>特になければ本日の議事はこれで終了とさせていただきたいと思います。それでは、進行は事務局をお願いいたします。</p>
事務局	<p>それでは、その他ということで、事務局から事務連絡がございます。</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「国際交流フォーラム」の紹介（国際フォーラム実行委員会） 平成30年3月11日（日）12時30分～市役所1階市民ホール</li> <li>・「ARTでまちづくり交流会in所沢」の紹介（埼玉県主催） 平成30年3月14日（水）14時5分～ミューズ第2展示室</li> </ul>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
事務局	<p>所沢ゆかりの2名が講演 （引込瀬・・・伊藤先生、KADOKAWA・・・宍戸さん）</p> <p>・「文化フェア」の紹介（文化フェア実行委員会） 平成30年4月7日（土）・8日（日）～航空記念公園</p> <p>本日は、ご多忙のところご出席いただき、貴重なご意見を賜りまして誠にありがとうございました。次回の開催は少し先の日程になりますが、委員の皆様のご健勝をご祈念申し上げまして閉会とさせていただきます。</p> <p>平成29年度第1回所沢市文化推進会議の会議録として承認する。</p> <p style="text-align: right;">会長 宍戸 健司</p>